

諸外国における権利制限規定の要件の比較（インタオペラビリティ（相互運用性）確立目的のリバース・エンジニアリングについて）

|         | 1. 複製・翻案が認められる行為の主体                   | 2. 必要な情報を他の手段で入手できる場合の扱い                  | 3. 許される複製・翻案の範囲                 | 4. 適法化されない場合 |                              |   | 5. 違法コピーからの複製・翻案の扱い | 6. 「通常の利用を妨げず、権利者の正当な利益を不当に害しない」という要件の明記の有無 |
|---------|---------------------------------------|---|---------------------------------|--------------|------------------------------|---|---------------------|---|
|         |                                       |   |                                 | 得られた情報の目的外使用 | 得られた情報の第三者提供                 | 得られた情報を利用した類似品の開発等                        |                     |   |
| ドイツ     | プログラムの使用権限を有する者、又はこれらの者に権限を与えられた者     | 相互運用性の確立に不可欠な情報が容易に使用可能な場合には不可            | 相互運用性の確立に不可欠な複製・翻案              | 不可           | 相互運用性を確立するために不可欠な場合以外は不可     | 実質的に類似の表現形式からなるプログラムの開発・製作・商品化・著作権侵害行為は不可 | —                   | 有   |
| フランス    | プログラムの使用権限を有する者、又はその者のためにそのための権利を有する者 | 相互利用に必要な情報が容易かつ急速にアクセス可能な場合には不可           | 相互利用に不可欠な部分についての複製・翻案           | 不可           | 相互利用に必要な場合以外は不可              | 表現が実質的に類似するソフトウェアの開発・製作・商品化・著作権侵害行為は不可    | —                   | 有   |
| イギリス    | プログラムの適法な使用者                          | 許される目的を達成するために必要な情報を容易に入手することが出来る場合は不可    | 許される目的を達成するために必要な複製・翻案          | 不可           | 許される目的を達成するために必要な場合以外は不可     | 表現が実質的に類似するプログラムの創作・著作権侵害行為は不可            | —                   | 無   |
| スイス     | プログラムを使用する権利を有する者                     | —   | —                               | 不可           | インターフェイスに関する必要な情報は可？         | —   | —                   | 有   |
| オーストラリア | プログラムの保有者または被許諾者                      | 相互運用性の確立のために必要な情報を他の手段で容易に取得することが出来る場合は不可 | 相互運用性の確立のために合理的に必要な範囲についての複製・翻案 | 不可           | 不可                           | —   | 侵害コピーからの複製・翻案の場合は不可 | 無   |
| アメリカ（※） | プログラムの使用権限を適法に取得した者                   | 相互運用性の達成のために必要な情報を容易に入手することが出来る場合は不可      | 相互運用性の達成に必要な要素の特定・解析のための行為      | —            | 相互運用性を達成するためのみに提供される場合は以外は不可 | —   | —                   | 無   |

※アメリカは権利の例外規定そのものではなく、著作権保護システムを回避することができる場合の前提とされている要件を記載している。